

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年恵庭市議会第 4 回定例会において次の一般質問を行なうので、会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により通告します。

令和 7 年 11 月 21 日

恵庭市議会議員 新岡 知恵

恵庭市議会議長 川原 光男 様

ページ 2～1

	一 問 一 答 (有)	質 問 所 要 時 間 (6 0 分)
大 項 目	1、教育委員会について	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
(1) 教育委員会制度について	教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下、地教育法と言う。）を根拠として、首長が議会の同意を得て任命した、教育長及び 4 名の教育委員で構成されます。教育長以外の委員は非常勤の公務員であるため、日常的な事務作業を担当する事務局があり、市役所内にある「教育委員会」がそれに当たります。教育委員会は、合議制執行機関（合議制かつ法律で決められた事務を、自らの判断と責任で決定・執行する義務を負う機関）であり、教育行政における重要事項や基本方針を決定する権限を有していますが、あくまでも教育長と 4 名の委員にその権限が付与されているものです。 教育委員会は、複数の教育委員が地域の保護者の声を代表し、様々な意見を交えて専門家と教育行政を運営していくことを目的として設置されています。公教育の基本理念実現のためには、教育委員会の機能を高めていくことが求められると考えます。考えを伺います。	
(2) 小中一貫教育について	小中一貫教育を進めるにあたっては、法で定めるところの教育委員会の職務権限事項であることから、教育委員による関与が重要だと考えます。この間、小中一貫教育について、教育委員会ではどのような手続きが踏まれ、今後どのように学校や地域と連携をしていくのか伺います。 また、移行期間である来年度は、各学校における小中一貫教育への取組としてグランドデザイン策定や、各教科の年間指導計画の接続策定などの業務が加わり、教職員の負担が増えることが懸念されます。働き方改革を進める中では、業務の見直しや人員体制の強化などの対策が不可欠だと考えます。考えを伺います。	

※議会申合せ事項第 1 4 条（抜粋）

1. 理事者から十分な答弁が得られるようできるだけ具体的に記入して下さい。
2. 通告にない事項の質問は、出来ません。



	氏 名 新岡 知恵	ページ 2～2
大 項 目	2、はたちのつどいについて	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
	はたちのつどいは、20 歳を迎える市民を祝福・激励するため、対象者から募った実行委員が中心となり、式典を開催しています。参加者にとっては一生に一度のイベントです。関係者にとって意義深い事業とするためには、参加者の声を次年度以降に反映させていく取組が重要だと考えます。 市は実行委員会とどのように連携しているのか伺います。また、毎年参加者が変わる中、どのように参加者の声を次年度の事業に活かしているのか伺います。	
大 項 目	3、多文化共生について	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
	恵庭市における外国人人口は増加しており、2025 年 10 月末現在、1,344 人で人口の約 2%を占めています。文化や言葉の異なる外国籍住民と共に支えあって暮らしていくためには、お互いに理解し合い受け入れる、多文化共生の考え方を持つことが大切です。恵庭市は国際化推進アクションプランの中で具体的に多文化共生の取組を進めてきており、2026（令和 8）年度からは新アクションプランが策定されます。 従来は、外国籍住民が恵庭市で快適に暮らしていくための支援に重点が置かれた取組でしたが、今後は、地域住民が多文化を理解し、受け入れる体制を整えるための取組が、より一層求められると考えます。 新アクションプランにおいて、地域住民と外国籍住民との相互理解を促進する取組をどのように盛り込んでいく考えなのか伺います。	

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 恵庭市議会第 4 回定例会において次の一般質問を行なうので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により通告します。

令和 7 年 11 月 21 日

恵庭市議会議員 柏野 大介

恵庭市議会議長 川原 光男 様

ページ 3～1

	一 問 一 答 (有・無)	質問所要時間 (70 分)
大 項 目	1. 市長の政治姿勢について	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
市長の所信表明について	市長の所信表明で示されたものの中には、これまでの議会答弁よりも踏み込んだ内容が複数含まれています。市政の連続性を考えたときに、現状認識にどのような変化があったのか、どのような理由で政策変更があったのか、以下の 4 点について、今後に向けた市長の考えを伺います。 ①ファイターズ新ファーム施設誘致 ②産科婦人科の誘致 ③第 2 子以降の保育料無償化 ④新たな財政運営の基本指針	

※議会申合せ事項第 14 条 (抜粋)

1. 理事者から十分な答弁が得られるようできるだけ具体的に記入して下さい。
2. 通告にない事項の質問は、出来ません。



	氏 名 柏野 大介	ページ 3～2
大 項 目	2. 会計年度任用職員の処遇改善について	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
	2020（令和2）年から始まった会計年度任用職員制度は、総務省の事務処理マニュアルの改正などを経て、再度の任用における上限回数の廃止などが進められてきました。 組織としての市役所の力を高めていくためには、適切な研修や人事評価のもと、職員がやりがいを持って職務に励むことのできる環境が必要です。 いくつかの自治体では、職員意識調査を実施し、仕事へのやりがいや満足度、不安や不満などについて把握をした上で、人材マネジメントに活かしている例があります。 恵庭市においても、再度任用における更新回数の上限が撤廃され（会計年度ごととはいえ）、継続的な任用が可能となったことを考慮すれば、会計年度任用職員の満足度を高め、研修の仕組みを整えることは重要だと思います。会計年度任用職員を対象とした意識調査を行い、研修の幅を広げ、やりがいを持って働ける環境を整えていくべきだと思いますが、ご所見を伺います。	
大 項 目	3. 持続可能な除雪体制について	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
	車両センターは道路施設の維持補修や除排雪、車両の管理や緊急時の対応などを担ってきました。これまで経済建設常任委員会では、車両センターの直営を廃止し委託化を目指すとして、委託化に向けた課題が示されてきました。 働き手が増える時代には、民間委託を進めることは、効率的な行政運営のために有効な方策であったと思いますが、働き手が減少する時代においては、将来的な財政負担の増加が見込まれます。また、気象災害が激甚化する昨今においては、むしろ直営として一定の体制を維持することが、緊急対応や機動力の確保、技術継承なども含め、安定的な除雪体制に資するものと考えます。 将来的に除雪を担える事業者の減少や人件費の上昇を考慮すれば、今からでも直営の除雪体制を一部でも維持するための人材採用や育成に転換すべきと思いますが、ご所見を伺います。	

	氏 名 柏野 大介	ページ 3～3
大 項 目	4. ゼロカーボンシティの実現について	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
①ゼロカーボン実現に向けた進捗	恵庭市では、2022（令和 4）年にゼロカーボンシティを宣言し、2050（令和 32）年の温室効果ガス実質ゼロに向けた取り組みを進めています。 ゼロカーボン実現のためには、影響が大きい産業・業務・運輸部門における取組を的確に把握し、さらなる取組を促すとともに、行政自らが確実に取組を進めていかなければなりません。 恵庭市の区域内における進捗、直近の実績とその要因、今後に向けての課題について伺います。	
②公共施設の集約に伴うエネルギー効率の改善	ゼロカーボンに向けた恵庭市としての取組は、省エネルギーや再生可能エネルギーへの切り替えなどが進められてきたところですが、今後は公共施設の新築や改修の際の取組が重要です。改修時に省エネ性能を高めるにも限界があり、効果が大きいのは新築時にエネルギー消費量ゼロを目指していくことです。 市営住宅恵央団地、島松地区複合施設、柏陽地区複合施設などで想定されるエネルギー収支と、施設更新・集約化に伴うエネルギー収支の改善、近年の改修事業におけるエネルギー収支の改善の実績について伺います。	
③ZEB の標準仕様化	今後の公共施設整備においては、年間のエネルギー収支ゼロを目指すネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング（ZEB＝ゼブ）を標準仕様とすべきです。実現に向けた考えについて伺います。	

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年恵庭市議会第 4 回定例会において次の一般質問を行なうので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により通告します。

令和 7 年 11 月 21 日

恵庭市議会議員 澁谷 敏 明

恵庭市議会議長 川 原 光 男 様

ページ 3 ~ 1

	一 問 一 答 (有・無)	質 問 所 要 時 間 (40 分)
大 項 目	職員の事務改善・働き方改革について	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
生成 A I などのデジタル活用について	近年、行政の現場でも生成 A I の利活用が進み、多くの自治体で議事録作成や文書校正、データ整理への活用など事務の効率化や職員の事務負担の軽減に大きく寄与しています。 本市における生成 A I の導入や利活用の状況については、本年第 1 回定例会で「高性能な生成 A I の試験運用を実施するとともに、適切な運用のためのルールを作成し、効果的な生成 A I の導入について検討を進める」とご答弁いただきました。進捗状況の確認と更なる職員の事務改善の観点から以下の点についてお伺いします。 1. 本市における生成 A I 導入・利活用の現状について 2. 生成 A I の利活用にあたっての課題について	
在宅勤務について	新型コロナウイルス感染症を契機として、多くの自治体で「在宅勤務」の導入が進んでおり、コロナ収束後も職員のワークライフバランス向上など柔軟な働き方の一つとして制度化し、定着させている自治体が増えています。 本年第 2 回定例会でも確認させていただき、本市においても「試行実施」という形で進めてきていると認識しています。 そこで、以下の点についてお伺いします。 1. 本市における職員の在宅勤務の試行実施状況について	

※議会申合せ事項第 14 条（抜粋）

1. 理事者から十分な答弁が得られるようできるだけ具体的に記入して下さい。
2. 通告にない事項の質問は、出来ません。



	氏 名 澁 谷 敏 明	ページ 3 ～ 2
大 項 目	一般行政について	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
フレックス制度について	2. 実際に在宅勤務を経験した職員からの評価や課題について 働き方改革を進める上で、時間の柔軟な運用は大変重要であり、子育てや介護、地域活動との両立を支える仕組みとして注目されています。本年第2回定例会でも確認させていただき、本市においても導入がされていますが、利用している職員は限られている印象です。 そこで、以下の点についてお伺いします。 1. 本制度の導入後の利用状況について 2. 本制度に関する職員からの評価や課題について	

	氏 名 澁 谷 敏 明	ページ 3 ～ 3
大 項 目	子育て行政について	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
こども誰でも通園制度について	親の就労有無にかかわらず、保育を利用できる「こども誰でも通園制度」が、本年10月より、本市においても開始されたところです。未就園児の親の育児負担の軽減や育児に関する孤立感の解消などを目的とした制度であり、令和8年度からは、子ども・子育て支援法に基づく新たな給付制度として、全ての市町村で実施されるものと認識しています。 そこで、本制度の実施に関して、以下の点についてお伺いします。 1. 本事業の概要について 2. 現時点での利用実績と課題について	
保育認定の現状について	子ども・子育て支援法に基づき、保育施設の利用や保育料の無償化を受けるためには、保育認定を取得する必要があると認識しています。保護者から市に対し申請が行われるものと思いますが、本市の保育認定の現状に関して、以下の点についてお伺いします。 1. 保育認定に係る本市の申請手続き・審査の流れについて	

一般質問通告書

令和7年恵庭市議会第4回定例会において次の一般質問を行なうので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

令和7年11月21日

恵庭市議会議員 宮 利徳

恵庭市議会議長 川原 光男 様

ページ 2～1

大項目	一問一答 (有・無)	質問所要時間 (50分)
新市街地	見据えた本市のまちづくりについて	
小項目	質問の要旨	
新市街地整備の進捗と今後の展望について	今後のまちの発展において重要な位置付けとなる新市街地の整備について、戸磯地区、上山口地区、西島松地区それぞれの進捗状況と今後の展望について伺います。	
原田市長の5期目に当たっての抱負について	本年11月に5期目の当選を果たされました原田市長に対し、お祝いと本市の更なる発展にご尽力いただくことをご期待申し上げます。原田市長の今後の抱負を伺うにあたり、市長選挙の際に公約として掲げられた各項目については、これまでの議会議論の中で社会情勢や近隣自治体の状況を鑑みながら検討を続けてこられたものと認識しております。そこで、以下について伺います。 1. 重度障がい者の交通費助成制度の見直しについて、その経緯とこれまでの検討状況について伺います。 2. 産科婦人科の誘致について、現状と課題について伺います。 3. 第2子以降の保育料無償化について、これまでの検討状況について伺います。 4. 北海道日本ハムファイターズ新ファーム施設の誘致について、現在の取り組みの状況について伺います。 5. 自転車用ヘルメット購入助成の拡大について、特に児童生徒に対する助成の検討状況について伺います。	

※議会申合せ事項第14条（抜粋）

1. 理事者から十分な答弁が得られるようできるだけ具体的に記入して下さい。
2. 通告にない事項の質問は、出来ません。



	氏 名 宮 利 徳	ページ 2 ～ 2
大 項 目	教育行政について	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
メタバースを活用した不登校児童生徒への支援について	昨年の第４回定例会において、不登校児童生徒への支援の取り組みとして、メタバースを活用した支援について質問を行い、今後の導入に当たっては近隣市の動向を鑑みながら、調査研究を進めていくとの考えを示されました。 これまでの検討状況について伺います。	

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年恵庭市議会第 4 回定例会において次の一般質問を行なうので、会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により通告します。

令和 7 年 1 1 月 2 1 日

恵庭市議会議員 吉永 孝之

恵庭市議会議長 川原 光男 様

ページ 3 ~ 1

	一問一答 (有)・無)	質問所要時間 (6 0 分)
大 項 目	災害時の即応性を高めるための資材整備と重機の運用体制について	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
1. 防災資材の安全かつ効果的な保管体制の整備について	市内の小中学校や老人憩の家等に防災資材が保管されていますが、地震対策がされていない棚に資材が収納されている事例があり災害時には、資材が損壊・散乱するおそれがあり物理的安全性に課題があります。 さらに、資材のロケーション管理が十分でなく、必要な資材を迅速に取り出すことが困難な状況も見受けられます。これらは災害対応の初動に支障を来し、市民や児童生徒の安全確保に影響を及ぼす可能性があり、管理運用上の課題が指摘されています。 そこで、現状と課題について伺います。	
2. 土砂災害に備えた関係機関との連携体制について	近年、豪雨による洪水、土砂災害や地震などの災害が全国各地で頻発しており、恵庭市においても災害対応力の一層の強化が求められています。 特に土砂災害、建物や樹木の倒壊などで、道路寸断の場面では、人命救助を優先するとともに、様々な情報を収集し、救助や避難のための通行ルートの確保が重要となります。 また、市民の安全を守るためには、平常時から関係機関との連携体制を構築しておくことが不可欠です。 そこで、現状と課題について伺います。	

※議会申合せ事項第 1 4 条 (抜粋)

1. 理事者から十分な答弁が得られるようできるだけ具体的に記入して下さい。
2. 通告にない事項の質問は、出来ません。



	氏名 吉永 孝之	ページ 3～2
大 項 目	野生鳥獣の影響について	
小 項 目	質 疑 の 要 旨	
今後のエゾシカの対策計画について	近年、白樺地区をはじめ市内各所において野生のエゾシカの群れが確認され、住宅地への侵入、家庭菜園への被害、交通事故などが懸念されています。 特に白樺地区の監視カメラによる定点観測では、300～350頭規模の群れが確認されており、被害拡大を防ぐための捕獲計画の策定は喫緊の課題となっています。 科学的根拠に基づく捕獲頭数の目標設定、重点地域の選定などの具体的な対策が求められています。 そこで、現状と課題について伺います。	

	氏名 吉永 孝之	ページ 3～3
大 項 目	市民の公共交通について	
小 項 目	質 疑 の 要 旨	
1. 外国人住民への公共交通案内の多言語対応とエコバス乗継制度の周知強化について	恵庭市では地域内の移動手段として小型バス「エコバス」が運行されており、本年9月からは2系統のコースが新設され、市民生活を支える重要な交通インフラとして利便性が向上しています。 しかし、外国人住民の増加に伴い、公共交通利用における情報格差が顕在化しています。エコバス車内やバス停の案内表示は日本語と英語に限られており、理解が困難な場合があります。 また、乗継制度（乗継券を運転手から受け取ることで、コースをまたいでも200円で乗車可能）についての周知が十分でなく、外国人住民が制度を活用できず、移動コストや利便性において不利益を被っている可能性があるため、利用実態と課題についてお伺いいたします。	
2. 駅利用者・市民全体の移動困難を踏まえた乗合タクシー制度の導入の検討について	現在、恵庭市内ではタクシー不足が深刻化しており、駅へのアクセスや歓楽街からの帰宅手段が確保できない、いわゆる「タクシー難民」の声が多く寄せられています。 この問題は特定の利用者層に限られるものではなく、市内3駅（恵庭駅・恵み野駅・島松駅）を利用する通勤・通学者、高齢者、通院、買い物を行う市民など、幅広い層にとって、移動手段の確保が困難な状況が見受けられます。 特にエコバス稼働時間の範囲外で広がっています。 ついては、現状と課題についてお伺いいたします。	

一般質問通告書

令和7年恵庭市議会第4回定例会において次の一般質問を行なうので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

令和7年11月21日

恵庭市議会議員 三上 まどか

恵庭市議会議長 川原 光男 様

ページ 1～1

	一問一答 (有)・無)	質問所要時間 (40分)
大 項 目	一般行政について	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
第3期恵庭市人材確保計画の進捗状況について	現在、本市では「企業とえにわの活力につながる人材の確保」及び「働く意欲のあるすべての人に就労機会の提供」を基本理念とした「第3期恵庭市人材確保計画」に基づき、企業の人材確保に資する各種施策が進められていると認識しております。そこで、以下の事業の現状をお伺いいたします。 1. 合同企業説明会について 2. 外国人人材採用支援セミナーについて 3. 女性デジタル人材育成事業について また、第3回定例会で質疑を行いました、従業員の資格取得支援事業の検討状況についてお伺いいたします。	
大 項 目	まちの賑わいづくりについて	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
恵庭駅前エリアマネジメントについて	昨年の第4回定例会においては、恵庭駅周辺における賑わいづくりに向けた試行事業の実施状況や、旧まなび館の建物に関する課題について確認しました。 その後、第1回定例会の総務文教常任委員会において、恵庭駅通商店街振興組合から提出された「恵庭駅周辺エリアの賑わい創出事業計画（案）」が報告され、この計画を踏まえ、旧まなび館周辺について民間活力の導入も視野に、今後のまちづくりや賑わい創出に資する利活用を検討していくとの説明があったところであります。 そこで、「恵庭駅周辺エリアの賑わい創出事業計画（案）」が提出された後の取り組み状況についてお伺いいたします。	

※議会申合せ事項第14条（抜粋）

1. 理事者から十分な答弁が得られるようできるだけ具体的に記入して下さい。
2. 通告にない事項の質問は、出来ません。



一 般 質 問 通 告 書

令和7年恵庭市議会第4回定例会において次の一般質問を行なうので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

令和7年11月21日

恵庭市議会議員 早坂 政芳

恵庭市議会議長 川原 光男 様

ページ 1～1

	一問一答 (有)・無)	質問所要時間(40分)
大 項 目	一 般 行 政 に つ い て	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
河川区域の維持・管理について	1 恵庭市内の清らかな川の流れは、市民生活に潤いと安らぎをあたえてくれます。市の河川区域の維持・管理における以下の項目についてお伺い致します。 ・ 市内の河川の管理者について ・ 河川緑地の定義及び目的について ・ 河川区域で国または道により整備された施設について	
市道の維持・管理について	1 全国的に道路等のインフラの老朽化が深刻化しております。恵庭市の市道の維持・管理における以下の項目についてお伺い致します。 ・ 市道の総延長及び舗装率について ・ 市道の補修計画について ・ 街路樹の伐採及び剪定の実施状況について	

※議会申合せ事項第14条(抜粋)

1. 理事者から十分な答弁が得られるようできるだけ具体的に記入して下さい。
2. 通告にない事項の質問は、出来ません。



一般質問通告書

令和7年恵庭市議会第4回定例会において次の一般質問を行うので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

令和7年11月21日

恵庭市議会議員 矢野 浩章

恵庭市議会議長 川原 光男 様

ページ 1 ~ 1

	一問一答 (有)・無)	質問所要時間 (40分)
大 項 目	1、観光行政について	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
はなたびタクシー 利用券事業について	本市は、花の拠点はなふるを核に市内周遊を広げ、市内消費の拡大を図る事を目的とした“はなたびタクシー利用券事業”を実施し、特定宿泊施設の利用者にタクシー利用券の配布をしていますが、これは、はなふる内の宿泊施設で飲食の提供が行われておらず、周辺の飲食店も少ないことから、滞在者の移動支援の側面も有している為と認識しております。 そこで、改めて本事業の目的、対象、配布方法、利用範囲そして、宿泊から精算までの基本的な流れについて伺います。	
大 項 目	2、デジタル広報の推進について	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
S N Sを活用した 情報発信について	本市では、様々なS N Sでの情報提供をしている中、公式YouTube チャンネルを開設し情報発信を行っていますが、市民生活に密着した、「生きた情報」の定期的な発信や YouTube チャンネルの認知度向上に向けた戦略的な管理運営については、依然として改善の余地があるものと考えます。 デジタル時代における市民への情報提供の手段として、動画プラットフォームの重要性が高まっている現在、市民に対する情報発信サービスの向上と本市のP Rの観点から、公式 YouTube チャンネルの現状と課題について伺います。	

※議会申合せ事項第14条（抜粋）

1. 理事者から十分な答弁が得られるようできるだけ具体的に記入してください。
2. 通告にない事項の質問は、出来ません。



一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年恵庭市議会第 4 回定例会において次の一般質問を行なうので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により通告します。

令和 7 年 11 月 21 日

恵庭市議会議員 石 井 美 季

恵庭市議会議長 川 原 光 男 様

ページ 1 ～ 1

	一 問 一 答 (有 ・ 無)	質 問 所 要 時 間 (5 0 分)
大 項 目	JR 駅を中心としたコンパクトなまちづくりについて	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
島松駅周辺の駐車場について	JR 島松駅周辺は現在大きな転換期を迎えております。 区間快速列車が停まるようになり、F ビレッジ最寄りの駅から一駅というポジションもあり、新しい住宅地はあつという間に家が立ち並び、駅はバリアフリー化し、新複合施設建設などもあり、住みやすさへの期待がますます高まっている勢いのある地域です。 市内全域あるいは市外からも注目度が上がっていると思われるこの地域へ行くには、電車やバス、タクシーなど公共の交通機関を利用する方も大勢いらっしゃると思いますが、自家用車の数も相当であると認識しています。 市営駐車場は現在、新複合施設建設工事の影響で駐車台数が少なくなっていますが、完成後も工事開始前より若干少ないようです。駐車場の不足は、迷惑駐車を誘発し、事故やトラブルの元にもなりかねません。市民が気軽に立ち寄り、安心してこの地域の様々な施設を利用するためにも駐車場の適切な台数を確保することは喫緊の課題であると思います。市民のための駐車場等について市のお考えをお伺いいたします。	

※議会申合せ事項第 14 条（抜粋）

1. 理事者から十分な答弁が得られるようできるだけ具体的に記入して下さい。
2. 通告にない事項の質問は、出来ません。



一般質問通告書

令和7年恵庭市議会第4回定例会において次の一般質問を行なうので、
会議規則第62条第2項の規定により通告します。

令和7年11月21日

恵庭市議会議員 川 股 洋 一

恵庭市議会議長 川原光男 様

ページ 1～1

大項目	一問一答	有 無	質問所要時間（50分）
	質問の要旨		
1,行政に対する市民の声の集めかたについて	1,市民参加型合意形成プラットフォームの導入について伺います。		
	2,パブリックコメントの現状と今後の課題について伺います。		
	3,近年は、紙からデジタルへの移行が進んでおります。そこで広報えにわのDX化についてのお考えを伺います。		
	4,デジタル技術（AI）による革新についてのお考えを伺います。		
2,野生鳥獣の被害とその対策について	野生鳥獣の及ぼす被害は後を絶ちません。鹿やアライグマによる被害や盤尻地区のみならず市街地に近い場所での熊の痕跡が確認されるなど、市民生活に及ぼす影響が身近に迫って来ております。そこで、次の点についてお伺いします。		
	1,市民生活に与えている被害状況の把握について		
	2,恵庭市が保有する罠の状況について		
	3,ガバメントハンターの必要性について		
3,島松のまちづくりについて	島松駅西口整備と自由通路の進捗状況についてお伺いします。		

※議会申し合わせ事項第14条（抜粋）

- 1、理事者から十分な答弁が得られるよう出来るだけ具体的に記入してください。
- 2、通告に無い事項の質問は出来ません。



一 般 質 問 通 告 書

令和7年 恵庭市議会 第4回定例会において次の一般質問を行うので、
会議規則第62条第2項の規定により通告します。

令和7年11月21日

恵庭市議会議員 野沢 宏紀

恵庭市議会議長 川原 光男 様

		ページ 1～1
	一 問 一 答 (有)	質問所要時間 (50分)
大 項 目	文 化 創 造 都 市 に つ い て	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
文化創造都市の構築について	第6期恵庭市総合計画の策定を進める中で、これからの恵庭の未来像として「文化創造都市」との位置づけがなされております。今後、「文化創造都市」の構築をどの様に進めるのかお伺い致します。	
文化・芸術振興条例の制定について	文化・芸術振興における、恵庭市の理念や取り組みを定めた条例の制定が必要と考えますが、ご所見をお伺い致します。	
大 項 目	保 健 福 祉 行 政 に つ い て	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
特定健康診査受診率向上対策事業について	恵庭市国民健康保険特定健康診査受診率向上対策事業として、令和7年度より試行として受診者へ、1000円分のQUOカードを贈呈しておりますが、その現状についてお伺い致します。 また、健康診査全般における今後の受診率向上の取り組みについてもお伺い致します。	
高齢者健康増進助成券事業について	高齢者健康増進助成券事業の現状と課題、今後のあり方等についてお伺い致します。	

* 議会申合せ事項第14条 (抜粋)

1. 理事者から十分な答弁が得られるようできるだけ具体的に記入してください。
2. 通告にない事項の質問は、出来ません。



一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年恵庭市議会第 4 回定例会において次の一般質問を行なうので、会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により通告します。

令和 7 年 1 1 月 2 1 日

恵庭市議会議員 松島 緑

恵庭市議会議長 川原 光男 様

ページ 1 ～ 1

	一 問 一 答 (有 ・ 無)	質 問 所 要 時 間 (5 0 分)
大 項 目	一 般 行 政 に つ い て	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
ごみ処理にかかる 現状と課題について	恵庭市一般廃棄物処理基本計画では、ごみの発生抑制・資源化の取り組みを進めています。以下の点について進捗状況と課題についてお伺いします。 1, ごみ発生抑制・資源化目標について 2, 市民、事業者への啓発と協力体制について 3, 紙おむつリサイクルの本市の考え方について 4, ごみ処理施設や収集車両における危険物混入による火災予防に関する本市の現状と課題について	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
恵庭市住生活基本 計画について	恵庭市住生活基本計画の以下の点について進捗状況と今後の進め方についてお伺いします。 1, 子育て世帯を支援する住まい・環境づくりについて 2, 市営住宅の計画的な整備について 3, 住宅相談窓口について	

※議会申合せ事項第 1 4 条 (抜粋)

1. 理事者から十分な答弁が得られるようできるだけ具体的に記入して下さい。
2. 通告にない事項の質問は、出来ません。



一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年恵庭市議会第 4 回定例会において次の一般質問を行なうので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により通告します。

令和 7 年 11 月 21 日

恵庭市議会議員 生本 富士代

恵庭市議会議長 川原 光男 様

ページ 1 ~ 1

	一 問 一 答 (有 ・ 無)	質 問 所 要 時 間 (50 分)
大 項 目	保健福祉行政について	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
① 高齢者の難聴対策について	社会の高齢化の進行に伴い、難聴の方も年々増加しています。難聴を放置すると、コミュニケーションに支障が出ることで、社会的孤立につながり、認知症発症のリスクが高まる傾向とされています。難聴対策として市役所の窓口に「軟骨伝導イヤホン」の導入を求めるところですが、市のご所見をお伺い致します。	
② 介護支援ボランティアポイント事業について	高齢者がボランティア活動を行い、様々な方と関わり支え合う事を目的として始まったこの事業は来年で10年目となります。健康寿命の延伸等、高齢化社会の変化と共に制度内容の拡充も図られるべきと考えますが、ご所見をお伺い致します。	
③ 地域包括支援センターについて	高齢者の増加に伴い、地域においては対応すべき課題が複雑化・多様化しており、地域包括支援センターに求められる役割は年々増えています。そこで地域包括支援センターの現状と課題について、また地域との連携体制についてお伺い致します。	

※議会申合せ事項第 14 条（抜粋）

1. 理事者から十分な答弁が得られるようできるだけ具体的に記入して下さい。
2. 通告にない事項の質問は、出来ません。



一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年恵庭市議会第 4 回定例会において次の一般質問を行なうので、会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により通告します。

令和 7 年 1 1 月 2 1 日

恵庭市議会議員 小 林 卓 矢

恵庭市議会議長 川 原 光 男 様

ページ 3 ～ 1

	一 問 一 答 (有)・無)	質 問 所 要 時 間 (5 0 分)
大 項 目	災害対策について	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
本市の防災に対する取り組みや連携について	大規模な自然災害は、いつどのように発生するかがわからないものであり、本市においても対策を万全にしていける事が重要と考えます。 大規模な災害といっても、地震などはいつ起こるか予想が簡単にできずに、発災直後の迅速な対応が求められることになるかと思ひます。大雨・台風災害は事前に数日かけて気象庁からの報道により事前に備える時間があり、災害の種別に応じた準備では異なる部分もあるかと思ひますが、災害が発生すれば大変なことに変わりなく、市民の暮らしや命にも関わり、本市の経済面にも悪影響を及ぼすことも考えられることから、あらゆる災害に備えた対策を備えておく必要があると考えます。 そこで、本市の防災に対する取り組みや体制づくりなどについて伺ひます。 ① 本市の防災力向上の取り組みの現状と今後の課題について伺ひます。 ② 地域住民や団体などとの連携について伺ひます。	

※議会申合せ事項第 1 4 条 (抜粋)

1. 理事者から十分な答弁が得られるようできるだけ具体的に記入して下さい。
2. 通告にない事項の質問は、出来ません。



	氏 名 小 林 卓 矢	ページ 3 ～ 2
大 項 目	教育行政について	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
いじめ問題・不登校について	文部科学省の「児童生徒の問題行動、不登校調査」の結果によると、不登校とされた小・中学生は、全国で過去最多の35万3,970人、前年度より7,488人増加し、増加は12年連続。道内でも昨年度より若干減りはしたものの、1万4,047人が不登校となっています。 いじめについては、小・中学校における全国での認知件数が、74万6,477件で前年度より3万4,844件の増。道内では4万7,507件となり、深刻な状況ではないかと考えます。 いじめというのは、加害者側にも被害者側にも、子どもの将来の人格形成に大きく影響を与え、最悪の場合、子ども達の命にも関わります。子どもたちの命や未来を守るため、いじめ問題の未然防止策の充実や、発生した場合の早期発見および解決は欠かせないものであり、対策などについては随時見直していく必要があるものと考えます。 ① 恵庭市内での、令和6年度の小・中学生の不登校およびいじめの件数と推移の状況、支援状況と解消件数について伺います。 ② いじめ防止に向けての学校内外での対策・協力関係の構築について伺います。	

	氏 名 小 林 卓 矢	ページ 3 ～ 3
大 項 目	一般行政について	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
除排雪および冬季間の市民生活の支援について	近年の気候変動は、降雪の時期や量に大きな変化をもたらし、短時間での集中豪雪などのリスクを高めています。一方で、本市でも高齢化が進むことが予想されており、自力で除排雪をすることが困難な市民も増加すると思われます。これに伴い、除雪作業の担い手不足も年々深刻化していくのではないかと考えます。市民の命と暮らしを守るための支援や、将来にわたって持続可能な除雪体制を維持・構築するため、本市の考えと今後の具体的な取り組みについて伺います。 ① 気候変動や高齢化による除雪作業への影響について、現状でどのようなことを課題として認識しているか伺います。 ② 冬季間における高齢者等、市民への暮らしの支援の現状の取り組みや課題について伺います。	

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年恵庭市議会第 4 回定例会において次の一般質問を行なうので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により通告します。

令和 7 年 11 月 21 日

恵庭市議会議員 太 田 実 保

恵庭市議会議長 川原 光男 様

ページ 2 ~ 1

	一 問 一 答 (有)・無)	質 問 所 要 時 間 (5 0 分)
大 項 目	安心安全な子育て環境について	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
1. 学童クラブについて	共働き世帯の増加に伴い、学童クラブは子どもたちの安心安全な居場所であり、また、保護者の仕事と子育ての両立を支える上でも、その役割は重要度を増しています。しかし、その運営を巡っては、待機児童の解消や、指導員の確保・育成、多様化するニーズへの対応など、様々な課題が指摘されています。 そこで、以下の点について伺います。 1) 学童クラブの運営の現状と課題について 2) 障がいのある児童の受け入れの現状と課題について 3) 長期休み学童預かり事業について 4) 学童クラブと小学校の連携について	

※議会申合せ事項第 14 条（抜粋）

1. 理事者から十分な答弁が得られるようできるだけ具体的に記入して下さい。
2. 通告にない事項の質問は、出来ません。



	氏 名 太 田 実 保	ページ 2 ～ 2
大 項 目	安心安全な子育て環境について	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
2. 交通安全指導について	通学路の安全対策は進められていますが、社会環境の変化に伴い、子どもたちが巻き込まれる交通事故は後を絶ちません。特に近年、自転車を利用する機会が増加しており、学校や家庭だけでなく、地域社会全体で交通安全意識を高めていくことが急務です。 また、児童生徒に対する交通安全指導の効果を高めるためには、学校、家庭、地域、関係機関との連携が重要で、すべての子どもたちが安全に登下校し、健やかに成長できるまちづくりに向けて市の積極的な取り組みが必要であると考えます。 そこで、以下の点について伺います。 1) 児童生徒に対する交通安全指導の現状と課題について 2) 学校や地域との連携について 3) 自転車用ヘルメット購入助成事業の現状と課題について	